

教育目標

ねばり強い子ども/考える子ども/たすけあう子ども/思いやりのある子ども/たくましい子ども

本年度の重点課題(組織目標)

- ①主体的・対話的で深い学びを充実させ、児童が生涯にわたって生かせる“学び方”を学ぶ
- ②自己指導能力(自ら考え、自ら判断し、主体的に行動する力)が育つ、みんなが幸せな学校づくり【ウェルビーイング】
- ③家庭・地域に開かれた「風通しのよい学校」を目指す

令和6年度の重点テーマ

「主体的な学びで、豊かな知識と人間性を習得し、自ら行動できる児童」

教師主体の教え込み(授業の大半が教師の話)中心の授業、児童が常に受け身の授業からの脱却を図り、児童が主体的に「やってみたい!」「友達と一緒にやってみよう!」と思える授業に転換することが必要。自分で、みんなで獲得する知識は生涯生きて働く知識となる。

学校力の4つの視点と学校力の捉え方

- ①組織力 (指定地域共通の改革)
- ②授業改革 (児童が主語の授業)
- ③ICT活用 (個別最適な学びの向上)
- ④働き方改革(目標設定と意識改革)

- 重点目標達成に向けた学校力の捉え方  
学校が一体となって、組織的な力で実現する「教育力」  
個々の教員の力に、過度に依存しない「チーム力」

D

知

まなび

- 子どもの問いを引き出す単元構想及び授業デザインの工夫
- 主体的・対話的で深い学びに向かうICTの効果的な活用
- 学ぶための基礎・基本の力の育成及び家庭学習の習慣化
- 「学びのやくそく」による学び方指導の徹底
- 「おび学」等を利用し、体験的な学びや本物と出会う学習機会の確保

徳

こころ

- 自己肯定感を高める心豊かな人間関係づくり
- 特別支援・インクルーシブ教育を中心とした学習環境づくり
- 全教科全領域における道徳教育の実践と充実
- 児童の思いを生かした特別活動の充実
- 心を豊かにする読書活動
- 感性を育む音楽・造形活動

体

からだ

- 「元氣な挨拶と正しい姿勢」を意識した基本的生活習慣の確立
- 体育における運動量を確保した主体的な体力づくりの推進
- 危険予知・回避能力を高める安全指導と環境整備の充実
- 命を大切にする心と健康・安全を保つ保健学習の充実
- 生涯にわたってスポーツに親しむ運動の習慣化

家庭との連携

- 授業参観、懇談会、面談等、対面での話し合いを重視
- ICTを活用した情報発信の工夫(chromebookを活用した作品展、安心メールの活用等)
- 家読、読書活動の習慣化
- 年2回の学校評価アンケートの実施と検証

地域との連携

- 西陵中エリアファミリーによる幼保小中の連携強化
- コミュニティ・スクールの積極活用による諸団体との連携

働き方改革

- 時間外勤務時間の縮減に向け、ワークシェア、打合せ、会議の精選、各種お便りの回数、内容の検討等を行っていく

A

C

学校に行くことが楽しみ  
85%

自分の考えや意見を伝えられる  
78%

挨拶や返事ができている  
90%

優しく思いやりの心をもっている  
89%

進んで運動に取り組んでいる  
90%

時間外勤務 | 人平均  
月30時間以内